帝國臣民たる男子にし

税資格は徹癈する

尚詳細は 就では五 關 0 意見通 係兩省で立案 (三選擧權及被選擧權・權を附與する事 り決定

四議會提出期で選擧權を與ふる史 族員互選議員有儲議員 選舉權

議し選舉法改正案の大綱を決

大臣の委員過日二回に亘り審

に關

山本内閣の

定したから、これを文書さし

昨日の閣議に提出後藤内相

(五罰則改正)議會の劈頭に提出する事 選舉法改正案は來る通常 選舉區制 則は嚴重に改 正する事

は左の通りである

改正案大綱

選舉權

衆議員議員選舉法

を見たが右改正案の大綱骨子 何等の異議なく案通りの決定 よう説明審議の結果各閣僚共

なして閣議に諮り決定をなし 内務省にて詳細に調査立案を 制その他選擧方法等の改正は 改正は主として司法省にて區 右の如くに閣議で決定した改 正案は全く大綱にして罰則の 選擧區制は適當の改正を 要する事

の如く決定した

廿二日の閣議に於て戒嚴令一部徹癈につき協議の結果左

議で埼

干葉を削除と

域

目下

大正十二年勅令第三九九號戒嚴令の一部施行に關す

る勅令の施行に關する件中改正の件

本月廿五日より千葉埼玉兩縣を戒嚴令

小名濱

選擧人名薄調製の期日ま

選擧區内に居住する者 引續き滿六ヶ月以上同

たる後改正法案の立法を行ふ

戶組合

施行地域より

削

除するご)

申し合せ

廿五歳以上の學生生徒た 帝國臣民たる男子で年齡 年齢廿五歳以上の者・

產試驗傷視察 校

廿五歳以上の者

國臣民たる男にして年

師小學校教員に被選舉

新潟縣立水產學校第三

學

焼失したので目下民家を借り 永戸箕輪組合役場は一昨年中

近く工事に着手

寄附金募集中の處三千五百圓

村合戸に新築する事となり

に達したが近く工事に着手す

議にて工費三千圓の豫定で永

執務中であるが此程村會の

决

官神整僧侶その他諸宗

驗場及び築港等を視察すると 來る十一月七日小名濱水產試 徒三十三名は職員三名附添で

獵友相互

·町藤田

されしより己むなく退職した 諭は安積高等女學校長に榮轉 にては紀念として金側懐中時 が動績十五ヶ年にして先生の 先生には此程夫君松本磐中教 藤田裁縫女學校松本いぐ 個を贈呈する事に決定し 報る為藤田裁縫校同窓會 同窓會より紀念品を 勤續年限は十五ヶ年

一連絡を計る様にするとの事で らい割引勉强せしむる指定宿 員の徽章をハイ用する狩獵者 を設け指定宿には看板を掲示 に限り宿料を二割乃至三割ぐ し獵友會事務所巡査駐在所さ 宜上叉狩獵者相互の情誼を **つ為めに警察部長福田虎龜** 獵友會の狩獵者が相互 度狩獵者の便誼を計り會 組織せるは衆知の事なる 會長さして獵友會なるも 一割乃至三割引き。

場所

宿屋へ交渉中である 萬國通信交換會 磐城日々新聞計

**双葉佛教慈善會** 一俱樂部

集中の處富岡町淨林寺外廿八 双葉佛教慈善會にては各寺院 郡役所に手續方を依頼したと 寺よう五十圓集まり此程双葉 東京地方震災救濟義捐募 郡衙に手續方を 巧言を

傾須賀海兵團 更

昨二十二日海軍省令を以つて 大正十二年十二月一日橫須 水兵機關兵は假舍に

印刷所加 新 印 刷 人 發行所 磐城日日新聞社福島縣石城郡平町四丁目世三番地 廣告料●五號字十三字語一行 〇町 横 活版 山 顯

頂定盾を!!! 金五 武 錢 祝日 便宜上 件の功勞に依り此程陸軍省よ 石城郡出身步兵廿九聯隊曹長 百五十五名は西伯利亞出兵事 同留守隊伍長坂本良雄氏以下 佐藤傳吉氏以下百八十三名及 賞賜された 三百數十名此程賞賜

期日 國 エハガキ 郵便切手 日本後一 會

各自の出品を歡迎す 希望者に即賣をなす 于五日 日至午後 の通りであ 3

池の坊 百省傳 示家より

平町三

平町三丁目和田よし子女史は 歌てより生花を研究されしが 歌でより生花を研究されしが を曲にも造詣頗る深く併せて を曲にも造詣頗る深く併せて を対象をなすと云ふが全女史は となった。 を対し、 をがし、 を対し、 をがし、 をが 懇切に に之が教授をなす 二丁目の和田女史

好間村町田藤井榮太郎方居住 干公騙取し何處  $\sim$ 

て炭を焼き 日平町搔槌 時田千賀造(三)は去る七月七 へ至り自分 を釣る 以て 居るが委托伐採に は大山林を買入れ 小路大河原友藏方 り叉進化もあるに相違ない。 せ三角鬪爭の世界だ。明日の 世界は變化もあれば流轉もあ

海軍團 中水兵機關 横須賀海兵 府加佐郡中 團が震災を 旨公布した に入 蒙つた為であると が右は横須賀海兵 兵に限り 團に入團せしむる 舞鶴町に假設せる **盟すべき海軍徴兵** 同日京都

來たればさて殘金二百圓を渡

岩手縣氣仙沼町へ高飛びした

せと云ひ百五十圓を受取りて

るを此程聞き込みて驚き平署

へ搜索願を出した

再度友藏方を訪れ愈々炭も出 三百圓を編取し九月十九日に

上岡聯合 新役 11人之 耕地整理

の選擧を行 整理組合で 双葉郡富岡 上岡村役 去る つたが當選者は左 は廿日午前九時よ 場に於て組合議員 町上岡村聯合耕地 廿日選擧の結果

未次郎、佐藤源藏、山田周藏石川静、遠藤勇、三瓶市助村土市郎、杉本勝次、杉本門、三瓶市助村土市郎、杉本勝次、杉本川、陽根館吉(上岡村)。 大岩淺之助、陽

人と オネー世渡り上手の一と、

| 考察する。そして、アン是れも|| 界十三角關係を深觀し批判し|| ち現實の世界だ。物さ肉と慾の如きは、今日の世界だ。即 世を容れ得ない。安價なる迎加ふるに、世に容れられても 是非もない仕儀と達觀する。 スネ者と一つ仕事をやるこす 合や共鳴をなし得ない、所謂 て利害の打算に敏感な現代の ある様な。弱々しい物柔かな さ、淡いしかし涙ぐましい。 者は、輕いしかし皮肉な微笑 的生活に或種の壓迫を感せざ る、夢二式の弱い人はその内 の人格の人と、夢二の繪に 何でも知りぬいてる。ネネ ダンの彫刻の様な。荒削 極めてお利口な。そし H

石城郡  $\dot{\nu}$ IJ

征

客觀の闘爭、誹毀、排撃、狂奔 だ、老子の心、芭蕉の情だ。 に捉はるゝな。超越だ、解脱 彼れは彼れの獨自獨個の世界

百圓を契約して、内金として應ずべしと巧に仝人を敷き五

V

りのやうに、點々と畵面

道が、

新派劇とし

見よー見よー

平町六丁目

五十一番地

火を恐れず

廣垲

歳まで

張所

覆面名無坊

角關係の場面が、

作品の匂ひを浴びて、生々し

見よー見よー

ねばならぬ人生の予盾と、

な女の戀の悲痛と、

入學資格は第一、

四の雨校は

福島署では縣保安課の應援を

務女學校)

石川高師內第四實業

深川猿江校第二實業

## 都復興に らく肌

ょ

9

るやうな氣分になれるのであ

東京市學務課では三ヶ月乃至 の直營補習校で開講し無月謝 八ヶ月修了の短期速成科を左 教授するが希望者は學校に 技術者を至急養成するた 都復興に働らく大工その他 市學務課で至急養成

▲建築製圖科(六ヶ月修業)芝 大工科、自轉車科、看版塗工 御田小學校內第一實業

▲仝(市ヶ谷小學校内牛込質 建築製圖科(六ヶ月修業)小 科(三ヶ月乃至六ヶ月修了) 家人の 走したが近頃杉妻町料理店或 夫人に發見され泥棒々々と大 松永大佐方に去る十九日白書 呼されたので一物を得ずに逃 は皆樂亭等盗難頻發するので 衣類を窃取せんさしてゐるを 福島市新町福島聯隊區司令官 福島市 に 鼠賊 司聯 命官資気は 隙を窺ひ簞笥の中から 目下犯人嚴採中

得て犯人嚴探中であると H,

爪鼻販製 掛緒賣造品

商店

台資會社

壹丁目南川岸通

良

牛込女學校は高女校四年修了

か同等の學力ある者である

中學四年修了者が同等の資格

の眼を一 見より あの笑を含 見 め る 眼を 世 間

てゐるが、ヒルムに動く純真 好活連の眼を喜ばし 生きた藝術 戀を捨て 手を-見よー見よー あの大きな手を世 あの大きな穴の耳 0 を世 隅の 間 醤油はヤマフル

める野性の暴露さは、血の滴 人間の叫びと、赤裸々な惱 たいか? 耳は何を聞たいか? 眼は何を見てる あの大きな鬼を 手は何を得たいか?何を穫 あ 0 金棒

番七

話

價格は東洋に

|製品縣下特約發賣||米亞鉛鍍金株式會

元社

曲げて折れ

づ容易に

錆び

D

下ろい

は

酒

銘

n

金棒は何の

ため

か?

濟

金物問屋

和洋銅鐵

を存するものである。 が藝術品としての高佳な價値 苦心の跡の見える背景、凡て る要するに、 程深刻に取扱つてゐる 登場俳優の必死な努力 アノ單簡な題材

三御定鼠

電話四四番

百種

灰特約店

病

マチス H

砂 利

植田 出 張

平町白銀町十一 番地 談員の扱

親切太 位

なる腕 三四四番を御呼出 御 二丁目停車場通りな消食店は、一親切な消食店は 了 なる はか

低廉

料 H

は J 沈奢

城郡平窪 村

芦屋 本 盾

H Ш

流 の弊な 番

がはきる Ħ 六番

五三六番番

H 12/22